

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	救急活動事業			事業番号	090-030
担当部署名	消防	局	救急	部	救急・救急ワークステーション 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実	
		有	取組の方向性	①地域医療体制の充実				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8	
		有	取組	健康寿命延伸に資するサービスの社会実装				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				

2	関連計画				
3	事業開始年度	— 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	消防組織法・救急救命士法			

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	・救急搬送を必要とする市民 (約94万人)	対象数	—	
		・就業中救急救命士及び救急隊員 (261名)	単位	—	
		・応急手当についての講習を受講可能な10歳以上の市民 (約86万人)			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急需要に対し即応できる体制を整備する</li> <li>・救急隊員及び救急救命士の活動の質を向上させる</li> <li>・応急手当についての講習受講者数を増加させる</li> </ul>			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急隊員の質の向上のため症例検討会、集中講義を開催し、講師を務めた医師等に対して謝礼金を支払う。</li> <li>・救急需要に対し即応できる体制を整備するため、使用する救急活動用消耗品を一元管理する資器材管理供給業務を委託する。</li> <li>・市民に対し応急手当についての講習を実施し、市民による応急手当の実施率を向上させる。</li> </ul>			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	医師、資器材管理供給業務を委託する業者等			
10	公民連携・協働事業				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
11 応急手当についての講習受講者数	人	目標値	—	3,000	3,000	10,000
		実績値	4,174	4,654		
		達成率	—	155%		
		当該指標を選定した理由	応急手当についての講習受講者数を増加させることは市民による応急手当実施率の向上に繋がるため。			
目標値の設定根拠・算出方法	これまでの講習会 1 回あたりの平均受講者数を基に、新型コロナウイルス感染症流行による講習中止や人数制限の影響を考慮し算定。					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 応急手当についての講習開催回数	回	目標値	—	200	200	
		実績値	242	227		
		達成率	—	114%		
		当該指標を選定した理由	講習開催回数を増加させることで、市民が応急手当を学ぶ機会を多く提供でき、講習受講者数増加に繋がるため。			
目標値の設定根拠・算出方法	これまでの年間講習実施回数を基に、新型コロナウイルス感染症流行による中止期間で実施できなかった講習の数を差し引いて算出。					

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	救急活動事業	事業番号	090-030
-------	--------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	34,638	40,686	37,742	51,946	35,544	
13 財 源 内 訳	国支出金			9,293	6,669	
	府支出金					
	市債					
	その他（救急業務支弁金）	3,516	2,234	3,800	3,242	3,300
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	31,122	38,452	33,942	39,411	25,575	
14 人件費 (b)	2,960	3,070	3,070	3,070	3,070	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	37,598	43,756	40,812	55,016	38,614	

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源
	R4 予算	276	276		R4 予算		
需用費	R3 決算	14,027	1,492		R3 決算		
	R4 予算	10,265	296		R4 予算		
役務費	R3 決算	2,780	2,780		R3 決算		
	R4 予算	2,300	2,300		R4 予算		
委託料	R3 決算	32,922	32,922		R3 決算		
	R4 予算	22,703	22,703		R4 予算		
備品購入費	R3 決算	2,079	2,079		R3 決算		
	R4 予算	0	0		R4 予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① 応急手当についての講習受講者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	900	900
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	216	193
備考 (算出についての説明等)	講習に必要な消耗品費及び人件費。		

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>応急手当に関する講習は、ほぼ人件費のみで開催可能であり、費用対効果が高い事業である。また、市民の応急手当普及員を育成することは、人件費をかけずに講習実施回数及び講習受講者数を増加させることが可能で、極めて費用対効果が高いと言える。</p>
----	--

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急隊員及び救急救命士の活動の質を向上させたことは、地域医療体制の充実や健康寿命延伸に寄与した。</li> <li>・救急需要に対し即応できる体制整備を行ったことは健康寿命延伸に寄与した。</li> <li>・市民が応急手当に関する講習を受講し、応急手当の実施率向上を図ったことは、健康寿命延伸に寄与した。</li> </ul>
----	--